片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

未来のことを想像してみて

The intersection of technology and biology?

片桐英数塾通信を書いているといつも「夢や希望の持てる明るく楽しい内容で書かなければ」と思っています。ですが、時折、夢も希望も感じないような、辛辣な内容のものが出来上がってしまうこともあります。正直、そのようなものに仕上がった時、あまり良い心持ちにもなりませんし、反省もしてしまいます。だから、「次に書くときはちょっとでも楽しく明るい感じの内容にしよう」と思いながら、日々過ごしています。しかし、今回の塾通信は気持ちが明るくなるような内容ではないかもしれません。ただ、書いておきたいので書こうと思います。お断りと致しまして、あくまでこれは私の考え、感じていることです。「それはあなたの思い過ごしですよ」と言って頂けるならば、むしろ、それに越したことはないのです。たぶん、私の思い過ごしなのだろうとも思うのですが、頑張って書いてみます。

先日、やめていた新聞を再びとり始めました(地元紙以外にもう一紙ということ)。読んでいますと、数年前から比べると、随分と記事の論調が違ってきているように私は感じています。違ってきたことくらいは別に良いのですが、それが私から見ると、あまり良さそうな感じに思えないことに困っています。「赤字国債と言いますか、国の借金と言いますか、それが悪い意味で、順調に増え続けているわけですが、もうそろそろ限界が見えてきているのではないのか」。「シーレーンは日本のエネルギーの生命線だけど、昔のような安全が確保できるかが不透明になりつつあるのではないか」。「少子高齢化により労働者人口がさらに減少するが、それに対応するには、IoT(Internet of Things)、AIなど、世の中をスマート化、効率化させ、さらに人間の労働力を省略化する方向へ向かうか(人間の労働が機械に置き換えられていく)、または外国人労働者を増やしていくくらいしか対応策がないのではないのか」。先月号にも書きましたが「AIが加速度的に今後進化していくのは、まず間違いがないようだけれど、便利になることばかりを期待してはしっぺ返しを食らうようなことになりそうな気がする」。考えればキリがないほど、悲観的なことばかりが脳裏を過り続けているわけです。

将来はどうなるのだろう? これは私だけが考えていることではなく、みんなが心のどこかで常に考えていることだろうと思います。人にこの質問をすることがあるのですが、十年、二十年先のこととなると、想像できてる人は少ないようです。

人に聞いてもはっきり分からないので、自分でいろいろ想像することにしました。まず、AIの進化とIoTが、これからの世の中のキーワードになるような気がしています。IoTとはInternet of Thingsの略なのですが、その意味をインターネットで調べてみますと、『コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。』とのことです。要は家の中の家電製品などに組み込まれたAIが、家電製品内のセンサーにより集められた様々な情報をインターネットを通じて提供し、それらの各家庭から集まったビッグデータを解析し産出された最適解をインターネットを通じて、各家庭のAIに反映させる。それを元にAIは、例えば温めたり冷やしたりする現実的に作用する装置に指令を出す。人間がイチイチ機械の設定をしなくても、機械がAIを通じて、常に最適で、最も効率の良い快適な動作を維持させるし、もちろん、人がインターネットを通じて遠隔操作することも可能だ、ということなんだろうと思います。

おそらく、未来ではプログラム化された日常が当たり前になっているのでしょう。ということは、数学的なもの、アルゴリズムが世界の重要な役割を担ってくるのだと思います。未来は日常生活と数学の距離がグッと近く重なり合っているはずです。

それと、スティーブジョブズのAppleがiphoneを世に出してから、みんながどこにいてもインターネットにアクセスできる世の中へとあっという間に変わってしまいました。彼は、「the intersection of technology and liberal arts(テクノロジーとリベラルアーツの交差点)」を目指していました。それは、人間の直観とテクノロジーを繋げるものでした。自分のやりたい操作が、説明書を見なくても直観的にサクサクできるので、もう機械とは思えない使い勝手に、みんな感動したものです。彼の伝記に書かれていたのですが、「二十一世紀のイノベーションは、生物学とテクノロジーの交差点で生まれるんじゃないかと思う」という妙な予言をしています。生物学?

仮に彼が言わんとするのが遺伝子だとした場合、もし遺伝子の領域にまでテクノロジーが入ってくるとどうなるのだろう。今後進化するAIは、今でさえ、株の売買を1秒間に千回も行えるなど、人間ではとても太刀打ちできない力を持っています。さらに進化したAIが蔓延る世の中になった場合、どうしても人間のスペックも上げたくなる人が出てくるかもしれません。もし、生まれてくる子のスペックを予めテクノロジーで操作するような人が現れたとしたら?

こんなことを書くと、気は確かか?と思われると思いますが、しかし、可能性としてはゼロではなく、むしろ、有り得そうにすら思えます。一つ爆発的な進化が現れると、何かしらのそれまでの価値観が破壊されるものです。

大げさかもしれませんが、今後、人類の歴史が始まって以来の未知の領域へ突入していくかもしれません。もしそうなると、これまでの価値観が破壊され新しい価値観が生み出されることになります。

価値を生み出したり見つけたりするのは、俗にいう「目利き」の力が必要になると思います。「目利き」をするには、全てに通じておく必要があります。学生のみんなは、今、少なくとも、学校で学んでいることは全て十分に理解し吸収しておく必要があると思います。

そんなことを考える一方で、ふと振り返ると二〇一二年に前回の教科書改訂が行われた時、「ゆとり教育の脱却」とのことで教科書の内容が増えました。授業時間は変わらず内容が増えたということで「勉強に対する意識の格差が広がるのではないか」と言われていたのですが、少し当たっているところもあるのではないかというのが、私の感想です。

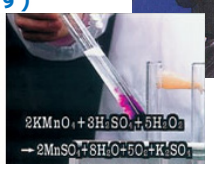
高校生はもとより、中学生、小学生は特に、本当の勉強をして本当の力を付けて、将来に備えるべきだと、最近、特に強く感じています。今やっていることを完ぺきにするんだ!という意気込みで勉強に向かってほしい、と強く思っています。

今、中途半端な教育をしてはいけない。強い教育をしなければならない。

教育機関の端くれとして、責任感、使命感を感じています。

～まだ間に合う！センター対策～

各教科万全にしておきたいけれど、この時期何をやっていいかと迷っている人、この短期間でどうにか得点アップにつなげたいという人、要点をおさえた河合サテライト講座で自信をつけよう。とくに文系生は理科、理系生は地歴公民を後回しにしがち。
今から受講しても間に合うおすすめのセンター対策講座をご紹介します。(高１、高２生向けの講座もあります)



【理科】 ◎センター試験対策物理Ⅰ<実戦編>
◎センター試験対策生物Ⅰ<実戦編>
◎センター試験対策化学Ⅰ<実戦編>
【地歴】 ◎センター試験対策日本史B
◎センター試験対策世界史B
◎センター試験対策地理B<系統地理編><地誌編>
【公民】 ◎センター試験対策政経 ◎現代社会 ◎倫理
【国語】 ◎センター試験対策国語(現代文＋古文＋漢文)
【英語】 ◎センター試験対策英語<リスニング対策編>
【数学】 ◎センター試験対策数学<標準編><実戦編>

リスニング対策は今なら3,000円引き！

体験受講・相談随時受付中！坂本教室まで！

片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の11月のお休みは、6日(日),13日(日),20日(日),27日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

HP ｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ katagirijuku@docomo.ne.jp

QR コードから HP にアクセスすることができます。

小6生募集中

新中１準備講座

中学校で習う内容を先取りするだけでなく、将来伸びる為に必要となる土台作り、学習習慣づくりもサポート。
わからなくてもすぐにあきらめないで、じっくり考えるタフな思考力を、楽しみながら身につけていきましょう。
計算王決定戦、漢字王決定戦、クイズ王決定戦へのエントリーもお待ちしております。

英語

中学に進学すると、英語も「考えて理解する」ことが大切になります。今、勉強の取り組み方を知っておくことで、中学からの伸びが違ってきます。この講座では、その勉強法を丁寧に伝授していきます。英語を楽しみながら得意科目にしていきましょう。

算数・数学

クイズやパズルなども利用して「考える」ことを楽しみながら学習していきます。中学数学においても重要な「割合」「速さ」「図形」に関する問題など、小学校で習っている算数を総復習！さらなる計算力の向上も目指しながら確かな力をつけていきます！中１で学習する単元の先取り学習も行います。

国語

「文を読む力」「文を書く力」は、どの教科にも必要な大切な力です。国語の力を伸ばすことは、簡単に短期間で出来ることではありません。本を読んだり、作文を書いたりするなど、普段から意識して毎日の学習に取り入れましょう。この講座では、物語文、説明文、随筆、詩、短歌など、文章を読んで考える記述問題に取り組み、読解力をつけていきます。

開講日：土曜日１６時半～１８時半（月４回） 月謝：７，５６０円（税込）

Copyright © 片桐英数塾. All Rights Reserved.